

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2001.9.1~9.30)

人事(9月1日付)

客員研究員 中山いづみ(米国ハーヴァード大学大学院博士課程, 2002年8月31日まで)

刊行物

『協調会史料 都市・農村生活調査資料集成』(全11巻+別巻, 柏書房)

『大原社会問題研究所雑誌』515号(2001年10月)

図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	66	16	82
受 贈	20	3	23
合 計	86	19	105

閲覧サービス

閲覧

開館日数 23日

閲覧人員 26名

貸出図書 127冊

コピーサービス

学外 23件 4191枚

学内 2件 52枚

日 誌

5日 来所: アンドリュー・ゴードン氏(米国ハーヴァード大学ライシャワー日本研究所長)

11日 社会・労働資料センター連絡協議会加盟諸団体にリサイクル図書329冊を送付

19日 研究員会議

月例研究会

報告者 梅田俊英

テーマ 「協調会の組織動向と労働課の調査事業」

報告者 横関 至

テーマ 「協調会農村課について」

22日 社会政策学会幹事会(出席: 早川征一郎)

加齢過程における福祉研究会

報告者 白野明氏(川崎市社会福祉事業団 せいんぼう川崎所長)

25日 事務会議

26日 運営委員会

議題 諸報告

2002年度予算要求方針について

大原社研「中期計画(素案)」について

その他

——— 研究所だより ———

日本社会党関係音声資料

当研究所では先に1998年10月14日, 法政大学名誉教授の鈴木徹三氏より, 日本社会党統一大会議事次第(1955年10月13日)の録音や鈴木茂三郎委員長辞任演説(1960年3月24日)など, 日本社会党に関する音声資料の寄贈を受けた。なお, 氏は鈴木茂三郎の子息で, 当研究所の名誉研究員でもある。

これらの音声資料は, オープンリールで61本, カセットテープでも61本に及び。

そして2001年10月1日, 鈴木茂三郎の政治談話録音(4本)などのほか, 徹三氏自身, 1974年以降, 関係者から聞き取りを行っていた証言テープ36本の寄贈を受けた。これらのなかには荒畑寒村, 伊藤好道, 木原実, 黒田寿男, 向坂逸郎, 佐々木更三, 島上善五郎, 羽生三七らの証言が含まれていて, とくに占領期の日本社会党の研究においては重要な史料となっている。

当研究所の音声資料の収集は, 1969年における《復刻シリーズ・日本社会運動史料》の刊行事業とともに始まった。こんかい, 鈴木茂三郎・徹三氏が所蔵する録音資料の寄贈を受けたことで, 研究所の音声資料はいちだんと充実した。現在, 研究所ではこれらの音声資料のデジタル化を企画し, 公表する準備をすすめている。(吉田健二)

大原社会問題研究所雑誌 No.518(2002年1月号)

2002年1月25日発行

定価 1,000円(本体952円), 年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

所長 早川征一郎

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042(783)2307